参考　クロスロード（災害対応ゲーム）【展開】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価（観点・場面・方法） |
| 導入（5分）  展開  （20～25分）  設問作成  （10分）  設問発表  （5分）  全体まとめ  (5分） | ・ゲームの説明  ・練習問題  ・設問を読む人は、山になっている設問カードから一枚取り読む（2回）  ・YesかNoか決めてカードを裏向きにして出す  ・一斉にカードをオープンし、ざぶとんを受け取る※多数意見は青ざぶとん1人だけ違う意見は金ざぶとんをもらう  ・1人ずつ順番に意見を発表する  ・多数意見、少数意見を踏まえ班の意見をまとめる  **これを繰り返す**  ・実際に起こりそうな判断に難しいことを考えて、設問を作成する  ・1～2名に設問を発表してもらい、みんなでYes/Noを表明する | ・基本ルールと例外ルールがあることを押さえる  ・1つの設問の流れを確認する  ・設問は2回読む  ・設問を読む順番は班長から右回りでもよいが、下の名前の50音順や誕生日の遅い順など場が和む決め方でもよい  ・設問が読まれたら5秒数えて裏向きにして出す  ・「オープン！」の掛け声で一斉にオープンさせる  ・他の意見を否定しない、正統派な意見ばかりにならないよう注意を払う  ・設問作成シートを配布する  ・設問が作れない児童・生徒には印象に残った設問や、答えを出すのが難しかった設問を聞き、作成を促す  ・問題をメモし、全体まとめでコメントする  ・様々な考え方があり、自分と違う意見もある。その人の立場で考えることが大切 | ・練習問題に対して、自分の意見をYes/Noで表明する（考える力・判断力）  ・他の意見を聞く力  ・自分の意見を発表する力  ・いろいろな意見があることに気づく（意欲）  ・設問の人の立場に立って考えることができる（思考力）  ・他の人の作った設問に積極的に取り組んでいるか（意欲） |